

富士フイルムグループ健康保険組合

<健康経営の目的>

富士フイルムグループ健康保険組合(以下 FFG 健保)は FFG 健保で働く職員とその家族、そして、富士フイルムグループ内の事業所・FFG 健保の加入者^(※)・地域・社会の人々の健康を願い、それに貢献するために健康経営を通じ各種の活動を展開します。それを通じ、生きがいを感じられる明るい未来のある社会の実現を目指します。

(※加入者=富士フイルムグループ健保被保険者+被扶養者)

<健康経営基本方針>

- (1)FFG 健保は、そこに働く健保職員と家族の健康増進活動を自ら実践します。
- (2)FFG 健保は、その実践を通じ FFG 健保加入事業所および加入者^(※)との積極的なコラボヘルス(健康増進施策)を進めます。
- (3)FFG 健保は、取引先、地域の関係企業などにも健康増進活動を推奨します。
- (4)FFG 健保は、社外への情報発信を積極的に行い、それを通じ地域の健康の発展に取り組みます。

<富士フイルムグループ健康経営宣言>

富士フイルムグループは、社会に新たな価値を創造するリーディングカンパニーであり続けるために、従業員が心身ともにいきいきと働ける健康づくりを積極的に推進すること、そして「100年を生きる時代」の社会の人々に、生きる力、生きる楽しさを提供していくことを宣言します。

上記の対応として下記を実践します。

- ① 経営者自身が率先して、健康づくりに取り組みます
- ② 健康づくり担当者を設置します
- ③ 職場の健康課題を把握し、改善に努めます
- ④ 労働基準法、労働安全衛生法などの法令を遵守します

以上